

第 31 回日本熱傷学会
中国四国地方会学術集会
プログラム・抄録集

「地方から全国へ最先端熱傷治療を発信する」



会期：令和5年12月9日（土曜日）13:00～16:00

会場：海潮園

（鳥取県米子市皆生温泉3丁目3-3）

会長：上田敬博（鳥取大学医学部救急災害医学分野）

ジェイス®

自家培養表皮

指定再生医療等製品

ジェイス®に関するお問い合わせは

医療従事者専用

TEL: 0533-67-3682

受付時間: 9:00~17:00

ジェイス 承認番号 21900FZX00039001
承認年月日 2007年10月29日
一般的名称 ヒト(自己)表皮由来細胞シート
類別 ヒト細胞加工製品 01 ヒト体細胞加工製品

保険適用 特定保険医療材料

重症熱傷、先天性巨大色素性母斑
栄養障害型表皮水疱症 および
接合部型表皮水疱症の治療に貢献する、
日本初の再生医療製品。

ジェイスは、動物由来の原料（ウシ血清、マウス由来細胞及びブタ膵臓由来トリプシン）を用いて製造しています。安全性確保のためにウイルス試験等を実施していますが、動物由来原材料を使用していることに起因する感染症の危険性を完全に排除できないことから、本品は疾病の治療上の必要性を検討の上、必要最小限の使用にとどめてください。

ジェイスは、患者自身の皮膚組織を採取し、分離した表皮細胞を培養し、シート状に形成して患者自身に使用する「自家培養表皮」です。

【効能、効果又は性能】

【重症熱傷】

自家植皮のための患皮面積が確保できない重篤な広範囲熱傷で、かつ、受傷面積として深達性Ⅱ度熱傷創及びⅢ度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象としています。

表皮細胞シートは、Ⅲ度熱傷創において、再構築された真皮に適用し、創を閉鎖することを目的とします。真皮の再構築は、原則として同種皮膚移植によって行ってください。

なお、深達性Ⅱ度熱傷創への使用は、Ⅲ度熱傷と深達性Ⅱ度熱傷が混在し、分けて治療することが困難な場合に限りです。

【先天性巨大色素性母斑】

表皮細胞シートは、先天性巨大色素性母斑を切除した後の創部に適用し創を閉鎖することを目的とします。

【栄養障害型表皮水疱症および接合部型表皮水疱症】

難治性又は再発性のびらん・潰瘍を有する栄養障害型又は接合部型表皮水疱症の患者を適応対象としています。表皮細胞シートは、難治性又は再発性のびらん・潰瘍部に適用し、上皮化させることを目的とします。

●効能、効果又は性能、警告、禁忌・禁止を含む使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書等をご参照下さい。

製造販売元

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

<https://www.jppte.co.jp>

J-TEC

検索

ジェイス®の使用に関する情報、安全性に関する最新の情報は、ホームページでご確認ください。

<2022年10月作成>

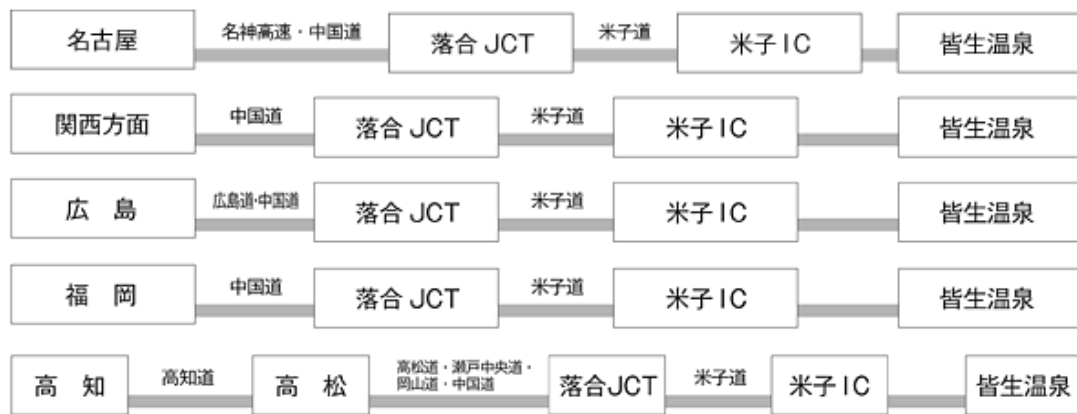
大会長挨拶

この度第31回日本熱傷学会中四国地方会学術集会を開催担当させていただくことになりました。鳥取大学医学部附属病院に赴任して4年目に入りますが、この間新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、ロシアによるウクライナ侵攻は収束する予兆は見え、中東情勢も不安定となり、世界全体が混沌とした状況が続いたままとなっています。熱傷の治療は同じ間に新たな治療法やデバイスが開発・臨床応用され、目まぐるしく発展しています。今大会は中四国から10の演題がエントリーされ、臨床・研究・看護と幅広く多岐にわたる報告・発表が行われることを嬉しく光栄に感じております。またご多忙の中抄録を登録いただいた演者の方々に深く感謝いたします。本会が地方から新しい知見を発信できる場にふさわしいものとなるように微力ではありますが尽力致します。

鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター

教授 上田敬博

広域図

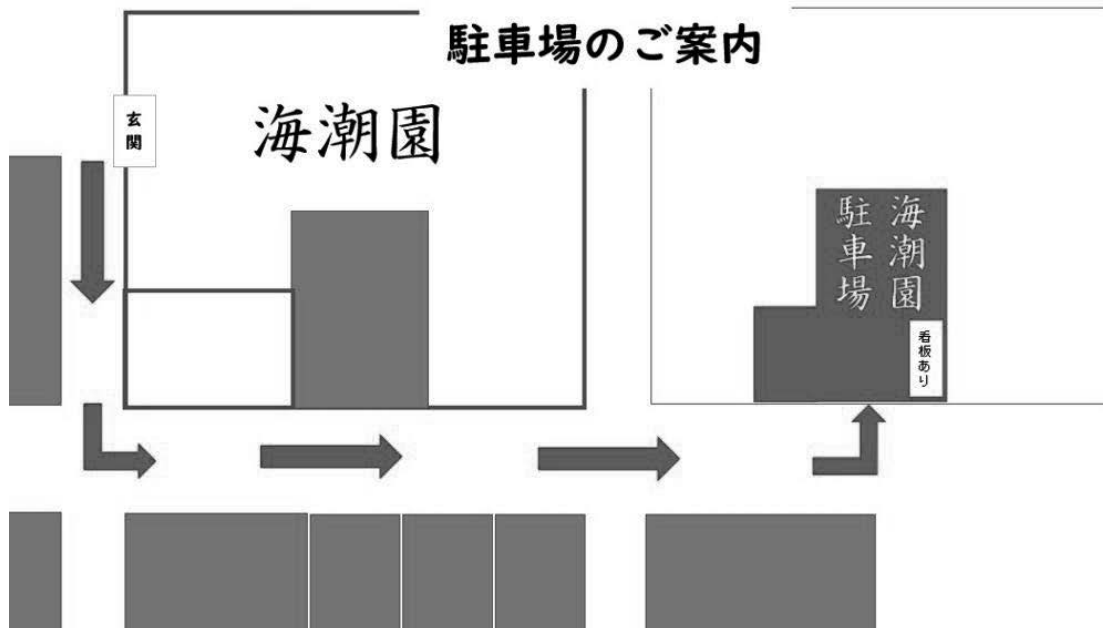


■皆生温泉 海潮園

〒683-0001 鳥取県米子市皆生温泉3丁目3-3

0859-22-2263

■ 駐車場のご案内



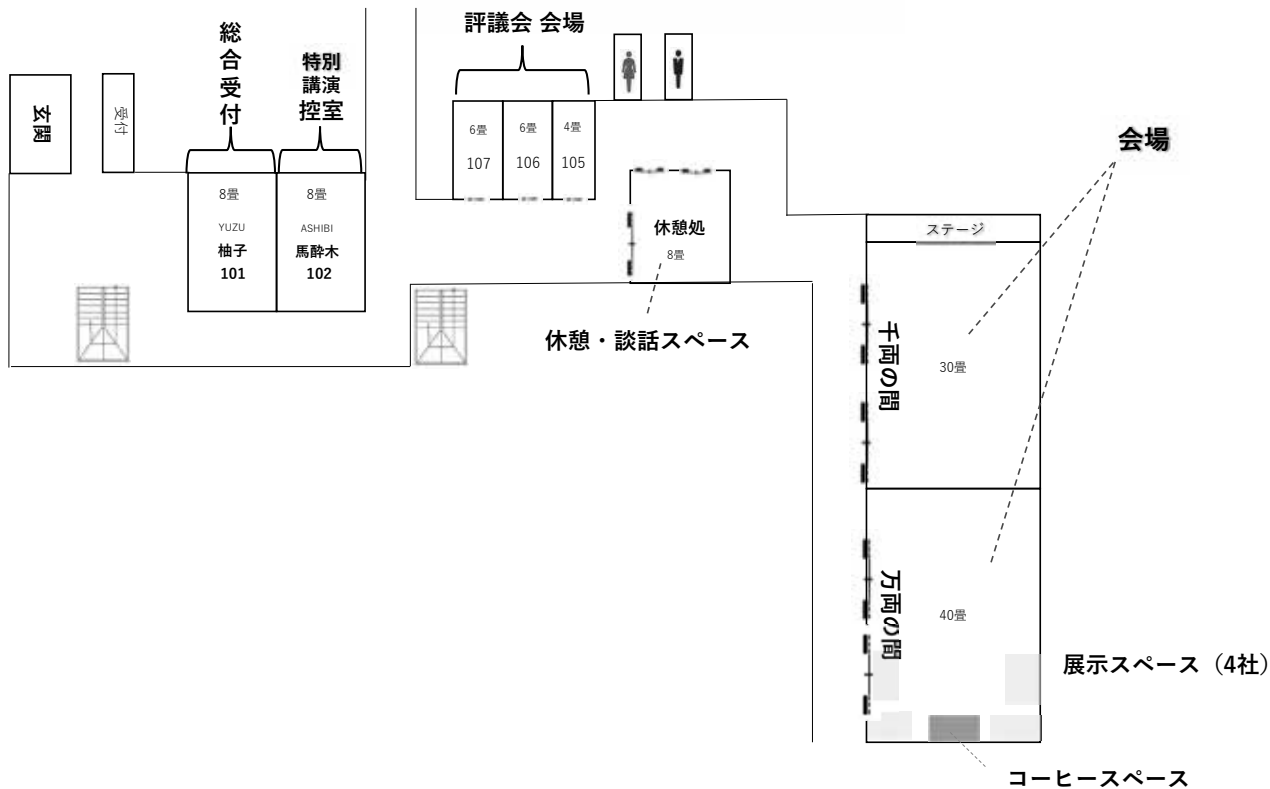
■ 評議員会のご案内

評議員会は下記の日程で行われます。

日時:令和5年12月9日(土)12時00分~12時30分

場所:海潮園

<館内マップ>



参加者の皆様へ

■ 参加受付

- ・受付時間:2023年12月9日(土) 12:00~16:00
- ・受付場所:海潮園 PC 受付ブース
- ・参加費:医師 2,000 円、医師以外 1000 円、学生は無料
抄録集は別途 1,000 円で頒布いたします。数に限りがございますのでご注意ください。
- ・参加証(ネームカード)にご所属・ご氏名をご記入の上、入場の際は必ずこの参加証をお付けください。参加証は参加費の領収証・参加証明書になっております。
- ・当日のお支払いは現金のみとなり、クレジットカードや電子マネーはご利用いただけません。
- ・会員の方は、プログラム・抄録集を必ずご持参ください。
- ・クロークは用意しておりません。会場内にお持ちください。

■ その他

- ・学会中のお呼び出しは致しかねます。
- ・会場内の撮影・録音はご遠慮ください。
- ・撮影は学会本部の許可を得たものに限りです。
- ・マスコミの取材に関しては、会長の許可を要します。

■ 新入会・年会費受付

- ・新入会の手続きおよび年会費受付を当日行います(年会費 2000 円)
発表演者は本会の会員に限ります。未入会の方は事前あるいは学会当日に受付にて入会手続きをお取りください。
- ・発表者が医師以外の場合は、共同演者に1名以上の会員が含まれていれば、入会は免除となります。

発表者(講演・一般演題)へのお願い

注意事項

- ・患者個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得た上で、患者個人情報が特定されないよう十分留意して発表ください。個人情報が特定される発表は禁止します。
- ・すべてのセッションの演者は、発表演題に関する利益相反の開示にご協力ください。詳細は「一般社団法人日本熱傷学会臨床研究・基礎研究の利益相反に関する指針及び同施行細則」を参照してください。

http://www.jsbi-burn.org/riekisouhan/riekisohan_shishin.pdf

日本救急医学会中国四国地方会 COI 開示	
筆頭発表者:	
① 役員・顧問等の報酬 有・無	
② 後述の利益または利益の回避 有・無	
③ 特許権使用料など 有・無	
④ 講演料など 有・無	
⑤ 印刷料など 有・無	
⑥ 研究費・助成金など 有・無	
⑦ 講演(奨励)金など 有・無	
⑧ 寄附金等 有・無	
⑨ その他(謝金・謝礼金など) 有・無	

日本熱傷学会中国四国地方会学術集会 利益相反 開示
所属・氏名

演題発表に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業などありません。

発表データの作成について

- ・投影スクリーンは1面で、発表には Windows PC とプロジェクター1台(解像度 1024 × 768 ピクセル)を使用いたします。(使用する OS は Windows 7 になります)
 - ※DVD、VTR や 35 mmスライドプロジェクター等のご用意はございません。
 - ・発表データに使用できるデータは、Windows Microsoft Power Point 2007、2010、2013 を使用し作成したものに限りです。
 - ※動画を使用される方、他のアプリケーションをご使用の方、Mac をご利用の方は、ノートパソコンをお持込みください。
 - ※Power Point の機能にある「発表者ツール」を使用するばあいは個人のノートパソコンをお持込みください。
 - ・発表データに使用するフォントは Windows 7 に標準搭載されているフォントを推奨いたします。
- [日本語]MS ゴシック・MSP ゴシック・MS 明朝・MSP 明朝
- [英語]Times New Roman・Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century・Century Gothic・Courier・Courier New・Georgia
- ・音声は使用できません。

発表データの持込について

・メディア持込の場合

USB メモリにてご持参ください。

保存するメディアには発表に必要なデータのみとし、他のデータは保存しないでください。

持ち込まれるメディアは、各自にて最新のデータによるウイルスチェックを必ず行ってご持参ください。

※バックアップとして予備のデータもお持ちいただくことをお勧めします。

・PC 持込の場合

会場で用意する PC ケーブルコネクタの形状は、D-sub ミニ 15 ピン(図参照)です。

この出力端子を持つ PC をご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必ずご準備ください。

電源ケーブルもお忘れなくお持ちください。

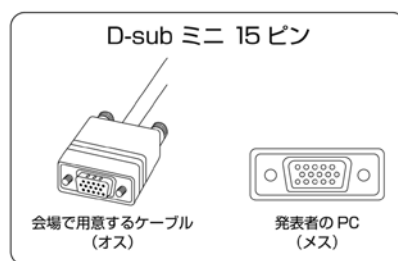
再起動をすることがありますので、パスワード入力は“不要”に設定してください。

スクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。

念のため発表データのバックアップを USB でお持ちください。

・データの消去

学会終了後、全て消去します。



発表データの受付

- ・各セッション開始 30 分前までに、PC 受付にて発表データの受付を行ってください。

場 所:海潮園 PC 受付ブース

時 間:12 月 9 日(土)12:30~14:00

- ・ご自身の PC を持ち込んで発表される場合、PC 受付での受付終了後、ご自身の PC を発表会場壇上にお持ちください。

座長の方へ

- ・セッション開始 10 分前までに「次座長席」にご着席ください。
- ・進行は座長にお任せいたしますので、プログラム時間の遵守をお願いいたします。発表時間は座長自ら時計でご確認ください。

演者の方へ

各セッションの発表時間は、次のとおりです。

一般演題 発表 6 分・討論 3 分

※時間厳守をお願いします。

※前演者の発表が始まりましたら、次演者席にお着きください。

※討論の形式は座長の指示に従ってください。

質疑・討論される方へ

・プログラムを円滑に進めるため、あらかじめ座長の許可を得てからご発言ください。

・所属とお名前を明らかにした上で、要旨を簡潔に述べてください。

確定抄録の提出

本会の発表抄録は日本熱傷学会機関誌「熱傷」に掲載されます。なお、抄録内容は発表予定原稿ではなく確定抄録原稿としてください。文字数は演題名、演者含めて 400 字以内とします。1 週間以内に word でお送りください。

■ 日程表

	会場：千両の間	会場：海潮園 105-107	会場：皆生ホテル1階イベントホール
12:00		評議員会	
12:30			
13:00	会長挨拶		
13:05	一般演題1 (演題1~5) 座長：島根県立中央病院 形成外科 貝田 亘 川崎医科大学附属病院 山田 祥子		
13:30			
13:50	休憩		
14:00	特別講演1 座長：高知大学医学部災害・救急医療学講座 教授 宮内雅人 広範囲熱傷に対する、徳島大学病院 形成外科の治療経験 演者 徳島大学病院 形成外科・美容外科 山崎 裕行		
14:30	特別講演2 座長：徳島大学病院 形成外科・美容外科 教授 橋本一郎 ネキソブリッド®を用いたケミカルデブリードマンストラテジー 演者 鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター 教授 上田敬博		
15:00	休憩		
15:10	一般演題2 (演題6~10) 座長：島根県立中央病院 形成外科 貝田 亘 川崎医科大学附属病院 山田 祥子		
15:30			
16:00			
16:10	閉会式		
20:00			Gaina Night 上田敬博, 田崎健太、ダイノジ (お笑い芸人)
21:00			

13:00-13:05 会長挨拶

13:05~13:45

一般演題 1

座長 島根県立中央病院 形成外科 貝田 亘
川崎医科大学附属病院 山田 祥子

演題 1. 重症ヒートプレス損傷に対して遊離前外側大腿皮弁を用いて手部温存できた1例

*1 川崎医科大学 形成外科学

*2 川崎医科大学 脊椎・災害整形外科学

木村 知己*1 有安 拓巳*1 新井 理恵*1 長谷川 健二郎*2 山下 修二*1

演題 2. 円滑な熱傷処置介助に向けて一般病棟看護師と連携した取り組み

鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター
村田佳史、吉野早苗、忠田知亜紀、上田敬博

演題 3. ネキソブリッド®使用後に保存的に上皮化を得た熱傷の治療経験

1 島根県立中央病院 形成外科

2 鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター

貝田 亘¹ 上田 敏博²

演題 4. ネキソブリッドを使用し予期せぬ経過をたどった1例

¹徳島大学病院形成外科・美容外科

高原由実子¹、峯田一秀¹、水口誠人¹、長坂信司¹、山下雄太郎¹、安倍吉郎¹、
橋本一郎¹

演題 5. 左両下腿DDBに対して人工真皮とRIGENERA®併用のみで良好な上皮化を得られた1例

鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター

大和宗之輔 中嶋龍作 藤井直人 愉波煉 南川侑介 松尾紀子 大河原悠介
松田健一 山本章裕 一番ヶ瀬博 木村隆誉 亀岡聖史 吉岡早戸 生越智文
本間正人 上田敬博

14:00～14:30

特別講演 1 座長 高知大学医学部災害・救急医療学講座 教授

宮内 雅人

広範囲熱傷に対する、徳島大学病院 形成外科の治療経験

1 徳島大学病院 形成外科・美容外科

山崎 裕行¹

美馬 俊介¹、板東 真由¹、長坂 信司¹、山下 雄太郎¹、峯田 一秀¹

安倍 吉郎¹、橋本 一郎¹

共催：アルケア株式会社
株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

14:30～15:00

特別講演 2 座長 徳島大学病院 形成外科・美容外科 教授

橋本 一郎

ネキソブリッド®を用いたケミカルデブリードマンストラテジー

鳥取大学医学部附属病院 高度救命救急センター

教授 上田敬博

松尾紀子 南川侑介 藤井直人 中嶋龍作 愉波煉 大河原悠介 松田健一

山本章裕 一番ヶ瀬博 木村隆誉 亀岡聖史 吉岡早戸 生越智文 本間正人

共催：科研製薬株式会社

15:10～16:10

一般演題 2

座長 島根県立中央病院 形成外科 貝田 亘
川崎医科大学附属病院 山田 祥子

演題 6. 熱傷による瘢痕性脱毛症に対してマイクログラフトを併用した治療経験

島根県立中央病院 形成外科
貝田 亘、中村 彩芳、松本 紘子、井上 真一

演題 7. MEEK 移植後の追加植皮におけるバーサジェットの有用性について

松江赤十字病院形成外科
大石正雄、池野屋慎太郎

演題 8. 「凍傷における深達度評価について」

川崎医科大学附属病院 救急科
山田祥子、宮本聡美、藤本晃充、増田淳一、田邊真央、立石寛子、岡根堯弘、
上野太輔、藤原弘道、高橋治郎、井上貴博、椎野泰和

演題 9. RECELL[®]と人工真皮のみで良好な上皮化を得られた高齢者上肢DDBの1例

鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター
増田興我 松尾紀子 南川侑介 藤井直人 中嶋龍作 愉波煉 大河原悠介
松田健一 山本章裕 一番ヶ瀬博 木村隆誉 亀岡聖史 吉岡早戸 生越智文
本間正人 上田敬博

演題 10. デブリードマンの指標としての HMGB1 の有効性の検討

鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター
大河原悠介 大和宗之輔 中嶋龍作 上田敬博 藤井直人 愉波煉 南川侑介
松尾紀子 松田健一 山本章裕 一番ヶ瀬博 木村隆誉 亀岡聖史 吉岡早戸
生越智文 本間正人 上田敬博

16:10~16:15 大会長 閉会のあいさつ

20:00-21:00

Gaina night

皆生ホテル 1階 イベントスペース

学会出席者は one drink つき

第31回日本熱傷学会中四国地方会学術集会 特別企画

GAINA NIGHT

 IN

BAYSIDE square
皆生ホテル

TAKAHIRO UEDA
上田敬博

鳥大病院広報誌カニジル編集長で
カニジルラジオMCの田崎健太が
吉本興業の漫才コンビ「ダイノジ」
と鳥大教員の上田をブツ斬る
トークショー

Special MC
田崎健太
KENTA TAZAKI

DAINOJI
ダイノジ

日時 令和5年12月9日土曜日 20時00分~21時00分+α
於 皆生ホテル 1階 イベントスペース
参加費 学会参加者 無料
一般 当日のみ 大人 2000円 小人 無料

抄録集

特別講演 1

演題名: 広範囲熱傷に対する、徳島大学病院 形成外科の治療経験

演者: ○山崎 裕行¹、美馬 俊介¹、板東 真由¹、長坂 信司¹、山下 雄太郎¹、
峯田 一秀¹、安倍 吉郎¹、橋本 一郎¹

所属: 1 徳島大学病院 形成外科・美容外科

近年、薬剤や創傷被覆材の進化により、熱傷治療は大きな変化を遂げてきている。特に創傷治療の分野においては、人工真皮、線維芽細胞増殖因子製剤、自家培養表皮に加えて、細胞懸濁液の噴霧や壊死組織除去薬の使用が保険治療の認可を受けており、使用頻度が増加してきている。広範囲熱傷では、熱傷創の閉鎖を速やかに行うことが救命率の改善に繋がると考える。当科では明らかな壊死部は、創部感染を生じる前に早期のデブリドマンを行い、植皮術に向けて人工真皮貼付による wound bed preparation を促している。採皮部が限定される症例では自家皮膚移植のみでの治療は難しく、自家培養表皮と自家高倍率分層植皮のハイブリッド植皮が主流となっている。また植皮片の生着や上皮の拡大には栄養管理も重要な役割を果たしている。当科で行っている治療の工夫を含め、過去の症例を提示しながら報告する。

【略歴】

2012年3月 徳島大学 医学部医学科 卒業

2012年4月 徳島大学病院 初期臨床研修医

2014年4月 徳島大学病院 形成外科・美容外科 医員

2015年4月 松山赤十字病院 形成外科 レジデント医師

2017年4月 徳島大学病院 形成外科・美容外科 医員(現職)

資格: 日本形成外科学会専門医、医学博士

所属学会: 日本形成外科学会、日本創傷外科学会 他

特別講演 2

演題名:ネキソブリッド®を用いたケミカルデブリードマンストラテジー

演者:上田敬博

松尾紀子 南川侑介 藤井直人 中嶋龍作 愉波煉 大河原悠介 松田健一
山本章裕 一番ヶ瀬博 木村隆誉 亀岡聖史 吉岡早戸 生越智文 本間正人

本年8月に本邦で深達性Ⅱ度熱傷とⅢ度熱傷の壊死組織除去を目的としたネキソブリッド®が使用できるようになった。自施設では11月現在で6例の熱傷患者に対して同剤をケミカルデブリードマンのために使用した。2例がデブリードマンは良好で保存的に上皮化が見られた。4例はデブリードマンが不十分なため外科的デブリードマンと植皮術を行った。

ネキソブリッド®の特徴は、塗布後数時間内でのデブリードマン効果と正常皮膚と損傷皮膚の境界が明瞭に確認できるため手術前の評価に優れていることである。組織の深達度の深いⅢ度熱傷で完全なデブリードマンを期待すべきかは今後経験や議論が必要である。

ネキソブリッド®の創部深度に合わせた使用方法、治療ストラテジーについて紹介する。

略歴

1999年 近畿大学医学部卒業
1999年 東神戸病院内科研修医
2001年 大阪府立千里救命救急センター レジデント
2003年 兵庫医科大学救命救急センター医員
2004年 神鋼加古川病院循環器科 医師
2005年 江戸川病院循環器科 医師
2006年 兵庫医科大学救急災害医学講座助教
2010年 兵庫医科大学大学院(生体応答制御系救急集中治療医学)
2014年 同大学院修了
2014年 兵庫医科大学病院 救命救急センター 熱傷センター 副センター長
2016年 RobertWoodJohnson University Hospital Acute Care Surgery (Trauma services)
2017年 兵庫医科大学救急災害医学講座学講師
2018年 近畿大学医学部救急医学講座講師
2020年 鳥取大学医学部附属病院救命救急センター 教授
2022年 鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター 教授
現在に至る

医学博士

日本救急医学会救急科専門医・指導医

日本熱傷学会熱傷専門医

インфекションコントロールドクター

役職

日本熱傷学会 評議員 広報委員

日本救命医療学会 評議員 編集委員

日本救急医学会 評議員

賞罰

2012年 カンボジア王国友好勲章 コマンドール

2022年 鳥取大学長賞

2023年 鳥取大学医学部附属病院 病院長表彰

演題 1. 重症ヒートプレス損傷に対して遊離前外側大腿皮弁を用いて手部温存できた1例

木村 知己^{*1} 有安 拓巳^{*1} 新井 理恵^{*1} 長谷川 健二郎^{*2} 山下 修二^{*1}

*1 川崎医科大学 形成外科学

*2 川崎医科大学 脊椎・災害整形外科学

【目的】ヒートプレス損傷で重症化した症例に対し、遊離前外側大腿皮弁を用いて手部を温存できた症例を報告する。

【方法】60歳男性。仕事中に180℃のプレス機に右手を20分間挟まれた。手背は徐々に皮膚・軟部組織の壊死が進行して伸筋腱は断裂、手背から手関節まで広範囲に骨が露出し、小指は炭化した。受傷19日目にデブリードマン、遊離前外側大腿皮弁で再建した。

【結果】皮弁は全生着した。部分的に創傷治癒遅延が生じたが、NPWTと植皮術を行い創治癒が得られた。手指は拘縮が残存するが、pinchが可能である。

【考察】ヒートプレス損傷では受傷後も壊死が進行し、壊死の深度、範囲が悪化することが多い。骨関節まで壊死が進行し切断を余儀なくされた報告がある一方、本症例では豊富な血行を有する遊離皮弁で被覆することで遅発性壊死を予防し、手部を温存することができた。

演題2. 円滑な熱傷処置介助に向けて一般病棟看護師と連携した取り組み

鳥取大学医学部附属病院看護部 鳥取大学医学部附属病院救急災害科
村田佳史、吉野早苗、忠田知亜紀、上田敬博

当院高度救命救急センターでは年間約15件の中等症から重症熱傷患者の入院を受け入れ、植皮術を概ね終えたあとは一般病棟に転棟する。昨年、度集中治療室から一般病棟に転棟した患者は5件だった。一般病棟転棟後も鎮痛鎮静薬を用いた慣れない熱傷処置が必要であり、一般病棟看護師が抱える不安は強く、円滑な熱傷処置が行えない可能性がある。そこで、高度救命救急センター看護師が処置に同席し、処置方法を共有するための体制を整えた。処置の場所は一般病棟のみではなく、熱傷の状態や一般病棟の許容度を考慮し救急外来も使用できる体制とした。また、ガーゼ汚染時など対応に不安を感じた際は、いつでも救命救急センター看護師に相談できるよう周知した。熱傷処置に慣れている高度救命救急センター看護師が同席することは、スムーズな熱傷処置介助が継続でき、患者の苦痛緩和に繋がり、医師と一般病棟看護師の負担軽減に有効であった。

演題3. ネキソブリッド®使用後に保存的に上皮化を得た熱傷の治療経験

島根県立中央病院 形成外科 ○貝田 亘

鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター 上田 敏博

症例は 44 歳男性。花火大会の準備中に花火の火花が飛び散り受傷、大学病院に搬送される。

左手から前腕、顔面、右足、背部に熱傷を認め入院。左手～左前腕はⅡ度で一部Ⅲ度熱傷を認めたためネキソブリッド®による壊死組織除去が行われた。第6病日に退院、第9病日に近医である当科に紹介となる。外来で外用剤による保存的治療を継続し、受傷から約1か月で上皮化を得た。ネキソブリッド®は手部熱傷に対する化学的壊死組織除去の有効性が示されていて、今回良好な治療結果を得たので報告する。

演題4. ネキシブリッドを使用し予期せぬ経過をたどった1例

高原由実子¹、峯田一秀¹、水口誠人¹、長坂信司¹、山下雄太郎¹、安倍吉郎¹、
橋本一郎¹

所属 ¹徳島大学病院形成外科・美容外科

ネキシブリッド®を両下腿の熱湯熱傷に使用し予期せぬ経過をたどった1例を経験した。症例は84歳、女性。熱湯が入った浴槽内で転倒し、左上肢・両下肢・背部・腹部に%TBSA45の熱傷を受傷した。両下腿は肉眼的に浅達性と深達性II度熱傷の混在が疑われたため、受傷翌日にネキシブリッドを使用したところ、熱傷部に暗紫色調変化を認めた。その後も色調は改善せず、上皮化も認めなかったため、受傷3日目に同部位を外科的にデブリードマンした。病理組織検査では壊死は皮膚全層に及んでおり、一部皮下組織にまで達していた。本剤の酵素作用によって壊死組織が融解し境界が明瞭化した一方で、皮下組織にまで達するIII度熱傷であったため十分なデブリードマンは達成し得なかったものと推察された。本剤は深達度が不明瞭な受傷早期であっても壊死組織の選択的デブリードマンが可能とされるが、その適応と使用時期については慎重に判断する必要がある。

演題5. 左両下腿DDBに対して人工真皮とRIGENERA®併用のみで良好な上皮化を得られた1例

鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター

大和宗之輔 中嶋龍作 上田敬博 藤井直人 愉波煉 南川侑介 松尾紀子

大河原悠介 松田健一 山本章裕 一番ヶ瀬博 木村隆誉 亀岡聖史 吉岡早戸

生越智文 本間正人

【はじめに】熱傷治療において本邦でもマイクログラフトが導入されつつある。今回我々は両下腿の深達性Ⅱ度熱傷に対して人工真皮とマイクログラフト併用のみで良好な上皮化を得られた症例を経験したので報告する。

【症例】19歳男性、煙草の吸殻を灰皿に置いたところ、未始末の他の吸殻に引火して暴発し両下腿熱傷を受傷したもの。

【経過】両下腿 DDB と診断した。保存的軽快は困難と考え、病日に水圧式ナイフでデブリードマンを行い、人工真皮を貼付し、臀部より全層採皮を行い RIGENERA®でマイクログラフト微細組織懸濁液を噴霧した。術後3か月後の創部は完全閉創となっている。

【結語】DDB において RIGENERA®によるマイクログラフトと人工真皮の併用は上皮化・創閉鎖の治療選択肢となりうる。

演題6. 熱傷による瘢痕性脱毛症に対してマイクログラフトを併用した治療経験

島根県立中央病院 形成外科

○貝田 亘、中村 彩芳、松本 紘子、井上 真一

頭髪の瘢痕性脱毛症の治療には、脱毛した瘢痕を切除後の単純縫縮、局所皮弁による被覆、ティッシュエキスパンダーで頭皮を拡張させてからの縫縮、そして植毛などがある。今回、熱傷による瘢痕性脱毛症に対して、瘢痕の分割切除に加えて脱毛部の毛量増加を期待してマイクログラフトを併用した症例を経験したので報告する。症例は5歳女兒、1歳時に熱湯による熱傷(Ⅱ° 17%TBSA)で後頭部を中心に瘢痕性脱毛症となる。1年間隔で2回瘢痕部の分割切除を行い、その際にリジェレラ®で加工したマイクログラフトを行った。その結果、脱毛した瘢痕の毛量増量は確認できなかったが、瘢痕境界部の毛量増加および縫縮部の瘢痕が比較的早期に柔らかくなった印象であった。

演題7. MEEK 移植後の追加植皮におけるバーサジェットの有用性について

松江赤十字病院形成外科
大石正雄、池野屋慎太郎

MEEK システムは小さな植皮片を意図した倍率で均等に置くことができ近年その利用が増えていると思われるが、MEEK による植皮部位に後日追加で植皮を行う必要がある際に、生着した小植皮片を残しながらデブリードマンを行うのは従来の刃物を用いた方法では困難であった。

今回我々は部分的に生着した MEEK による小植皮片を残しながら、バーサジェットを用いたデブリードマンを行い良好な結果を得たため文献的考察を加えて報告する。

演題8. 「凍傷における深達度評価について」

川崎医科大学附属病院 救急科

山田祥子

宮本聡美、藤本晃充、増田淳一、田邊眞央、立石寛子、岡根堯弘、上野太輔、
藤原弘道、高橋治郎、井上貴博、椎野泰和

重症熱傷において熱傷創のデブリドマンは1週間以内に完了することが推奨されている。一方、様々な文献によると凍傷は画像評価による深達度評価が推奨され、早期デブリドマンは推奨されていない。

今回、広範囲凍傷を経験した。

53 歳男性、工業用配管破損による-196 度液体窒素噴出により広範囲凍傷を受傷。%TBSA68.0、BI34.0であった。

受傷当初の肉眼的評価によりデブリドマンを要すると判断した部位に対して、早期のデブリドマンは控え、経過観察し、感染部位を都度デブリドマンすることとした。

慎重な深達度評価が推奨されていることから、肉眼的評価で深達度Ⅲ度と判断した部位に対して造影超音波検査、皮膚生検を行ったところ、深部血流は維持されていた。

今回、感染兆候を認めたことからデブリドマンを都度行ったが、感染を来さない場合には、肉眼的評価でのデブリドマンを要すると判断した範囲よりも、待機的とすることでデブリドマンの範囲を縮小できると感じた。

演題9. RECELL®と人工真皮のみで良好な上皮化を得られた高齢者上肢DDBの1例

鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター

増田興我 松尾紀子 南川侑介 上田敬博 藤井直人 中嶋龍作 愉波煉

大河原悠介 松田健一 山本章裕 一番ヶ瀬博 木村隆誉 亀岡聖史 吉岡早戸

生越智文 本間正人

【はじめに】RECELL®はマイクログラフトの1つで、健常皮膚から分層採取を行い熱傷創部に噴霧する方法で、含有される線維芽細胞・ケラチノサイト・メラノサイトらが創傷治癒に働くとされている。今回我々は高齢者高温液体による上肢熱傷に対し RECELL®と人工真皮貼付のみで良好な上皮化を得られたので報告する。

【症例】86歳男性、沸騰した湯の入った容器を移動させようとしたときに誤って転倒し、その湯が自身の左上肢にかかり受傷したもの。左上肢 7%TBSA のⅡ度熱傷と診断し入院加療を開始した。保存的治療にて改善認めない深達性Ⅱ度熱傷と考え、第 7 病日にデブリードマン＋分層植皮術を左前腕に行った。左上腕と肩には人工真皮を貼付し背部から分層採取した皮膚で RECELL®にてマイクログラフト噴霧液を作成し同部に噴霧した。分層植皮を行っていない人工真皮貼付部のみの左上腕と肩も良好な上皮化を得ることができた。

【結語】どの熱傷深度で RECELL®を用いるか今後検証が必要ではあるが、どう手法は熱傷創部の創治癒に対して選択肢の一つとなりうる可能性が示唆された。

演題 10. デブリードマンの指標としての HMGB1 の有効性の検討

鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター

大河原悠介 大和宗之輔 中嶋龍作 藤井直人 愉波煉 南川侑介 松尾紀子
松田健一 山本章裕 一番ヶ瀬博 木村隆誉 亀岡聖史 吉岡早戸 生越智文
本間正人 上田敬博

熱傷の治療において、深達性2度熱傷と3度熱傷では保存治療による上皮化は期待できず、デブリードマンが必要となる。損傷皮膚からは HMGB1 などの DAMPs (damage associated molecular patterns) が放出される。HMGB1 (High Mobility Group Box 1) は細胞核内に多量に存在する DNA 結合タンパク質であるが、炎症性刺激や細胞死により核内から細胞外に放出される。放出された HMGB1 は Toll like receptor などの受容体で認識され、TNF- α などの炎症性サイトカインの分泌を促進し、ショックや臓器不全の増悪を促すと報告されている。我々の施設では受傷早期からのデブリードマン(化学的/外科的)を行っており、良好な治療成績を得ている。今回デブリードマンの有効性の指標として HMGB1 を検討したので報告する。



RECELL は、患者の健常皮膚より採取した皮膚片から細胞懸濁液を作製するためのキットです

[特徴]

採皮部位は、治療部位の
1/80

通常の自家網状植皮に比べ、
健常皮膚の温存が可能

手術室で、細胞懸濁液の
作製が可能

患者の状態に応じて、
早期手術も可能

様々な自家細胞が
均一に供給

ケラチノサイト、メラノサイト、
線維芽細胞等を供給

RECELL は、熱傷治療の課題に対し、最善の治療方法を提案します

[規格]

製品名	製品番号	JAN コード	最大治療面積 (1 セット)	構成品
RECELL 1920	C3RL01-B:JP	0851707004248	1920 平方 cm	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット本体 ・酵素バイアル ・滅菌水バイアル ・緩衝液バイアル ・スプレーノズル ・採液針
RECELL 640	C3RL01-A:JP	0851707004231	640 平方 cm	

※滅菌済み製品 (ユニット本体: EOG 滅菌、酵素バイアル・スプレーノズル・採液針: 放射線滅菌、緩衝液バイアル: 高圧蒸気滅菌)
 ※使用前は、必ず添付文書をお読みください。
 ※再滅菌、再使用禁止

販売名 : RECELL 自家細胞採取・非培養細胞懸濁液作製キット
 一般的名称 : 自家皮膚細胞移植用キット
 医療機器承認番号 : 30400BZX00039000
 クラス分類 : 高度管理医療機器 (クラスⅢ)

※改良のため予告なく仕様変更されることがありますのであらかじめご了承ください。

製造販売元



本 社 : 〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-9 ツインビューお茶の水ビル
 TEL.03-5802-3830 FAX.03-5802-6890 <http://cosmotec.com/>

製造元

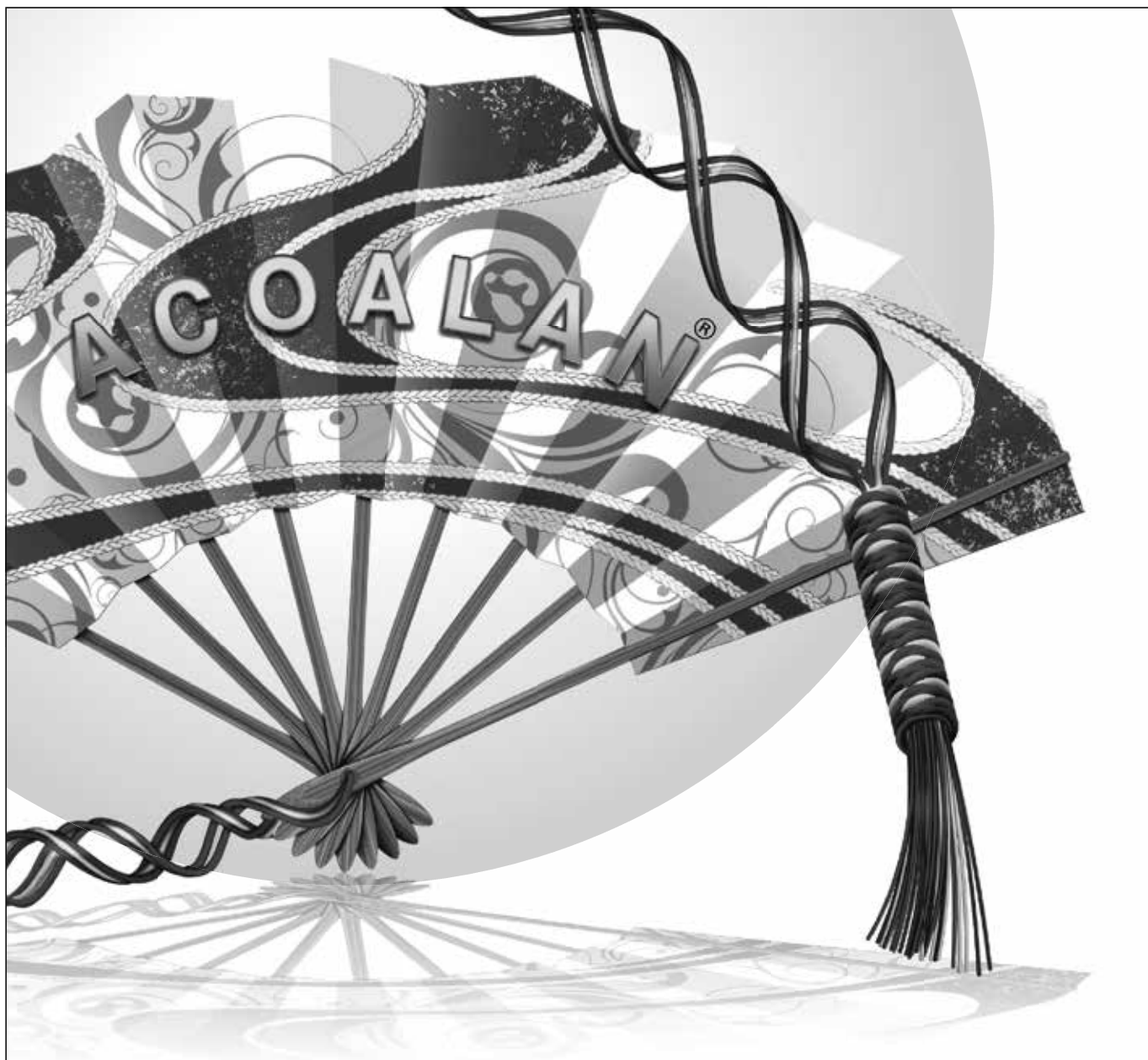


ニプロは、います。
世界の子どもの命のそばに。



新領域に果敢に挑み、
さらに多くの人々に信頼される **NIPRO** をめざしています。

Medical supplies for the world population



血液凝固阻止剤

アコアラン[®] 静注用600・1800

ACOALAN[®] Injection

600国際単位、1800国際単位／バイアル
アンチトロンビン ガンマ(遺伝子組換え) 静注用

生物由来製品 処方箋医薬品^{※1} (注意-医師等の処方箋により使用すること)

薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元
協和キリン株式会社
東京都千代田区大手町1-9-2

販売元
一般社団法人
JB 日本血液製剤機構
東京都港区芝浦3-1-1

ACO-202007

[文献請求先及び問い合わせ先]

日本血液製剤機構 くすり相談室 〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-1 医療関係者向け製品情報サイト <https://www.jbpo.or.jp/med/di/>



病院内物流にRFIDを取り入れ、効率性・精密性・安全性に革新を

※導入効果例

作業	導入前		導入後	
	運用	作業時間	運用	作業時間
手術前材料検品 平均1000個/症例	数量・期限・ロットを2名で ダブルチェックし帳票記入	80分	RFID読取BOXへの設置のみ 1名で確実な検品	10分 70分削減
手術セット材料 マスタ登録	手作業でPC入力、帳票で 品番の確認、ダブルチェック	150分	セットした材料を デジタル一括登録	30分 120分削減
棚卸(随時)	複数人数を配置し 実地棚卸後、再確認	25時間	RFIDスキャンで一括棚卸し 再確認のみ	1時間 24時間削減

KNS 小西医療器株式会社

<http://www.kns-md.co.jp/>

本 社 〒540-0038 大阪市中央区内淡路町 2 丁目 1 番 5 号
TEL.06-6941-1363 (代) FAX.06-6944-0198

大阪営業所
東京営業所
京都営業所
神戸営業所
岡山営業所
福山営業所

広島営業所
鳥取営業所
米子営業所
松江営業所
出雲営業所
浜田営業所

松山営業所
今治営業所
大阪物流センター
大阪ソリューションセンター
山陰物流センター
山陰 SPD センター

Muranaka



BONIMED
DEFENSE X
GLASS X
MURANAKA MEDICAL INSTRUMENTS CO., LTD.

ディフェンスグラス X

X線被ばくのリスクを
低減するために

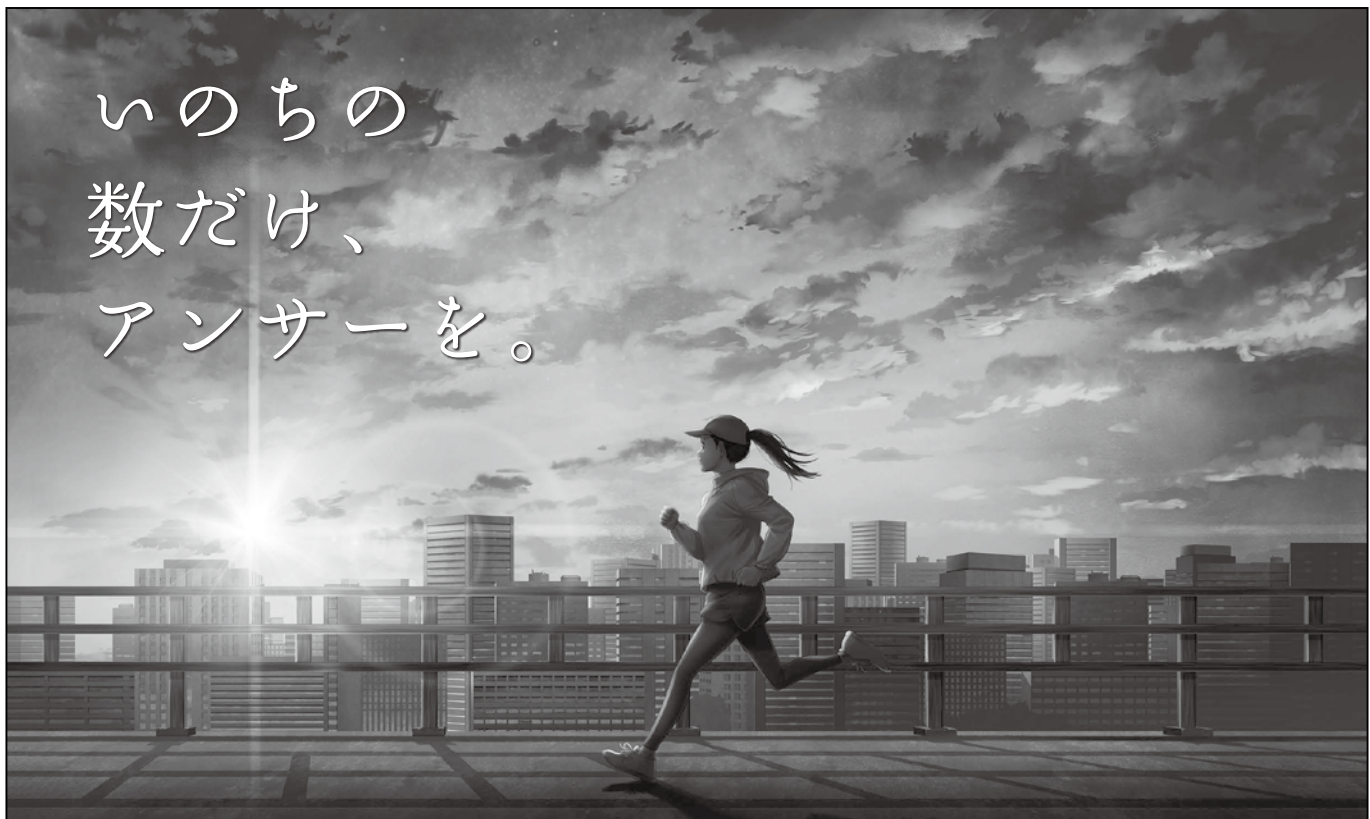
一般医療機器	届出番号	27B3X00010000044
	一般的名称	放射線防護用被ばく用眼鏡
	販売名	BONIMED ディフェンスグラスX premium

村中医療器 株式会社

本社 〒540-0036 大阪府大阪市中央区船越町 2-3-6 ☎ 06-6943-1221 (大代)
総合センター ☎ 0725-53-5541 (代) 東京支店 ☎ 03-3813-9211 (代)
<http://www.muranaka.co.jp/>

札幌営業所 ☎ 011-737-9121 (代) 仙台営業所 ☎ 022-274-7780 (代)
埼玉営業所 ☎ 048-844-3500 (代) 金沢営業所 ☎ 050-2018-1030 (代)
名古屋営業所 ☎ 052-709-7111 (代) 村中船越ビル ☎ 06-6943-1431 (代)
北大阪営業所 ☎ 06-6386-0003 (代) 米子営業所 ☎ 0859-33-6231 (代)
広島営業所 ☎ 082-532-1800 (代) 福岡営業所 ☎ 092-473-0123 (代)

いのちの
数だけ、
アンサーを。



旭化成ファーマ株式会社
<https://www.asahikasei-pharma.co.jp>





オラネジン®

外用殺菌消毒剤(オラネキシジングルコン酸塩液)

保険適用

オラネジン® 消毒液1.5%

Olanedine Antiseptic Solution 1.5%
Olanedine Solution 1.5% Antiseptic Applicator 10mL・25mL

オラネジン® 液1.5%消毒用アプリーケーター10mL・25mL

オラネジン® 消毒液1.5% OR

Olanedine Antiseptic Solution 1.5% OR
Olanedine Solution 1.5% OR Antiseptic Applicator 10mL・25mL

オラネジン® 液1.5% OR 消毒用アプリーケーター10mL・25mL



効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については、電子添文をご参照ください。



製造販売元
株式会社大塚製薬工場
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

販売提携
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

文献請求先及び問い合わせ先
株式会社大塚製薬工場 輸液Dセンター
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2
(23.07作成)



h/c
human health care

患者様の想いを見つめて、
薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



A FUTURE FREE OF LF
GLOBALLY

エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

Intuitive. Powerful. Flexible
Healthcare with a
human touch

smith&nephew
RENASYS TOUCH
Negative Pressure Wound Therapy



NEW



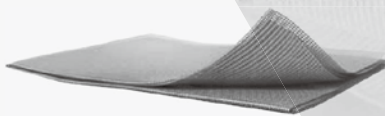
Supporting healthcare professionals for over 150 years

スミス・アンド・ネフュー株式会社 ウンドマネジメント 事業部
〒105-0011 東京都港区芝公園二丁目4番1号 TEL.03-5403-8830
<http://www.smith-nephew.com/japan/>
*Trademark of Smith & Nephew.
©2018 Smith & Nephew KK

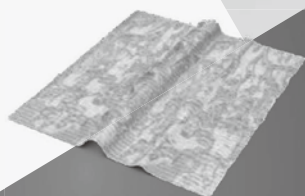
販売名: RENASYS創傷治療システム
承認番号: 22400BZX00276000



sorbact[®]
微生物を結合させる疎水性ドレッシング



SORBACT[®] コンプレス

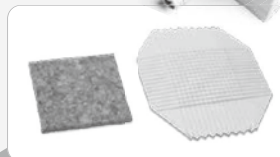


SORBACT[®] ジェルドレッシング

製造販売業者: センチュリーメディカル株式会社
販売名: Sorbact[®] コンプレス 承認番号: 23000B2J00330000
一般名: 疎水性多孔質吸収体保護材 JMDNコード: 36226000
販売名: Sorbact[®] ジェルドレッシング 承認番号: 23000B2J00330000
一般名: 疎水性二次治療用ハイドロゲル創傷保護体保護材 JMDNコード: 34082003
Sorbact[®]はABIGO Medical ABにより商標登録されています



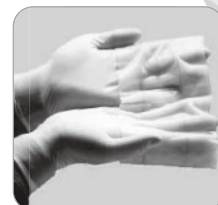
Humeca ミーク
Meek



製造販売業者: センチュリーメディカル株式会社
外国製造元: Humeca B.V. (オランダ)
販売名: MEEK 創傷器 承認番号: 30200JL2X00038000
一般名: 創傷用皮膚移植器 JMDNコード: 5704M3002
販売名: MEEK 創傷皮片カッター 承認番号: 13B1X00089041003
一般名: 創傷人工皮膚メッシュ移植フィルム JMDNコード: R13614000

真皮欠損用グラフト

INTEGRA[®]
LIMIT UNCERTAINTY



製造販売業者: センチュリーメディカル株式会社
外国製造元: Integra LifeSciences社 (アメリカ合衆国)
販売名: INTEGRA[®] 真皮欠損用グラフト 承認番号: 22000B2Y00020000
一般名: 創傷用人工皮膚 JMDNコード: R11912200

CM Partner in Healthcare
Century Medical, Inc.

センチュリーメディカル株式会社

本社 〒141-8588 東京都品川区大崎1-11-2 TEL.03-3491-1785 FAX.03-3491-1857

直接作用型第Xa因子阻害剤中和剤

薬価基準収載

オンデキサ®

静注用 200mg

(アンデキサネット アルファ)

新発売

アンデキサネット アルファ (遺伝子組換え) 製剤

生物由来製品、処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

「効能又は効果」「用法及び用量」「禁忌を含む使用上の注意」等については電子添文をご参照ください。

製造販売

アレクシオンファーマ合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目1番1号 田町ステーションタワーN

販売・文献請求先・製品情報お問い合わせ先

アストラゼネカ株式会社

メディカルインフォメーションセンター 〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号
TEL.0120-189-115 <https://www.astrazeneca.co.jp>

2022年5月作成

明日のカラダに、
ダブル
Wアプローチ

ホエイペプチド × プレバイオティクス*

*プレバイオティクス:大腸に届き健康維持に役立つ発酵性成分(食物繊維等)

PRE BIOTICS
WHEY PEPTIDE



消費者庁表示許可
総合栄養食品(病者用)

総合栄養食品(病者用)
「糖質/食物繊維減量調整」

許可表示

ペプタメン プレビオは、食事として摂取すべき栄養素をバランスよく配合した総合栄養食品で、疾患などにより通常の食事で十分な栄養を摂ることが困難な方に適しています。



- ペプタメン プレビオは窒素源としてホエイペプチドを含有しています。
- ペプタメン プレビオは下痢に適するよう食物繊維を含有しています。
- ペプタメン プレビオは食物繊維を100mlあたり2.1g含有しています。

Nestlé
HealthScience®

PEPTAMEN® PREBIO®

コラーゲン使用人工皮膚

PELNAC Gplus[®]

ペルナック Gプラス[®]

アルカリ処理ゼラチン プラス

手術治療のさらなる進歩へ

全層皮膚欠損創に貼付することにより、
貼付部からスポンジ層の空隙内に侵入した線維芽細胞によって
新しい真皮様組織が形成されます。

メッシュ補強タイプ



トレックスガーゼを組込むことで強度がアップし、
スムーズに縫合が行えます。

ドレーン孔タイプ



メッシュ補強タイプにスリットを入れ、
滲出液管理に優れます。

単層タイプ



シリコンフィルムを必要としない創に適しています。

単層ドレーン孔タイプ



単層タイプにスリットを入れ、滲出液管理に優れます。

